

平成30年4月23日

那賀医師会 会員各位

那賀医師会

学術担当理事 宮井 利彦

## 平成30年度 第3回公立那賀病院との合同勉強会のご案内

公立那賀病院との合同勉強会を下記のとおり行います。ご多忙中とは存じますが、多数のご参加をお願い致します。

### 記

日 時：平成30年6月14日（木）午後4時から

場 所：公立那賀病院 北別館 1階講義室

講 師：公立那賀病院 乳腺・呼吸器外科 科長 平井 慶充 先生

演 題：「公立那賀病院における完全鏡視下呼吸器手術の導入

～地域の患者さんにより低侵襲手術の恩恵を～」

抄 録：

低侵襲手術の社会的ニーズの高まりから、多くの領域で完全鏡視下手術が行われています。一方、呼吸器外科領域ではいまだに胸腔鏡手術（video-assisted thoracic surgery:VATS）の定義は存在せず、8cm程度の開胸をおき、内部の筋肉は20cmも切離し開胸器をかけ、直視で手術をしても胸腔鏡さえ挿入されていればVATSという事もできます。（保険上も）。しかし、低侵襲で患者負担の少ない外科治療は社会的なニーズであり、一部では完全鏡視下手術も進歩してきました。さらに他の領域の進歩、内視鏡外科の技術認定制度、群馬大学の事故等を受け、いよいよ呼吸器外科でも完全鏡視下手術の制度整備が進められております。

和歌山県でも本格的な完全鏡視下呼吸器外科手術はほぼ行われておらず、気胸や良性腫瘍等の患者に限って、各々の施設で工夫して行われてきたのが現状でした。

国内で完全鏡視下手術で有数の high volume center である癌研究会有明病院に留学の後、2016年度から和歌山県立医科大学で完全鏡視下手術を立ち上げ約100例の症例を経験し、今年度から公立那賀病院へ赴任し、完全鏡視下手術を立ち上げました。

2018年4月現在、和歌山県内の病院で肺癌手術を含め、あらゆる呼吸器疾患を完全鏡視下で行っている病院は公立那賀病院のみとなっております。

ぜひ地域の先生方に現在、公立那賀病院呼吸器外科で行っている低侵襲治療の実際を紹介させて頂きたいと存じます。

また、最近の呼吸器外科の話題についても紹介させて頂き、当科での取り組みを紹介させて頂きたいと思います。

※この勉強会は日本医師会生涯教育講座：1単位

カリキュラムコード：(42)、(46)を申請中です。